

2-4 緑に関する市民等の活動

現在、市民等により、緑に関する様々な取り組みが行われています。

公園等愛護会

2018 年度（平成 30 年度）には、67 団体の愛護会が公園等の維持管理を行っています。

公園種別ごとの愛護会のある公園の割合

施設区分	都市公園	その他公園	児童遊園	その他緑地等	合 計
施設数	68	8	6	44	126
愛護会のある施設数	47	2	6	12	67
割 合	69%	25%	100%	27%	53%

花と緑の写真

知立市の「花と緑のまちづくり」への参加を促進するため、市民から「花と緑」の景色の写真を公募し、ホームページ等で紹介する取り組みを実施しています。

花と緑のカレンダー

緑の募金の一部を活用して、市民から公募した花と緑の写真を掲載した「知立市 花と緑のカレンダー」を作成しています。



フラワーブラボーコンクール

市内 7 校の小学校で花壇を作っており、そのうち毎年 1 校が参加しています。



緑のカーテンコンテスト

環境保全の意識を醸成し節電等にも取り組むきっかけとなるように、市民を対象として、緑のカーテンコンテストを実施しています。

苗木等の配布

緑化推進の一環としてアジサイやかきつばたの苗、チューリップの球根などを配布しています。



池鯉鮒散歩みち協議会

市内の安全で快適に歩ける道路や緑豊かな河川堤防を「池鯉鮒の歴史と自然の散歩みち」として紹介したり、散歩みちの清掃等の管理、ウォーキングイベントの開催等の活動を行っています。

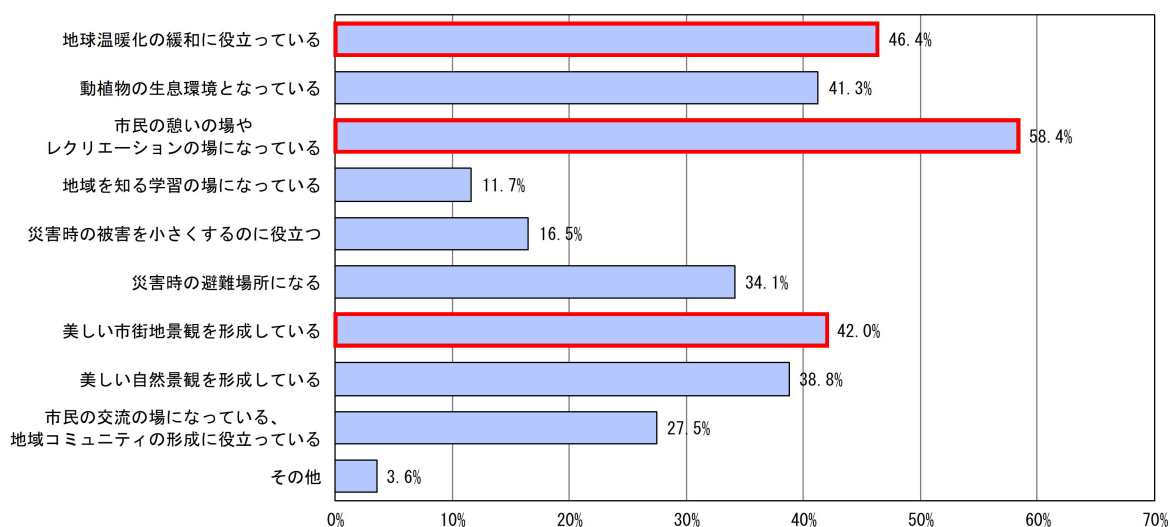
2-5 緑に対する市民意識

本市の現在の緑や、今後の緑のまちづくりに対する市民の考えを把握するため、無作為に抽出した18歳以上の市民2,000名を対象として、2018年（平成30年）8月31日から9月14日の期間にアンケート調査を実施し、841名から回答があり、回収率は42%となりました。

以下に、主な調査結果を示します。

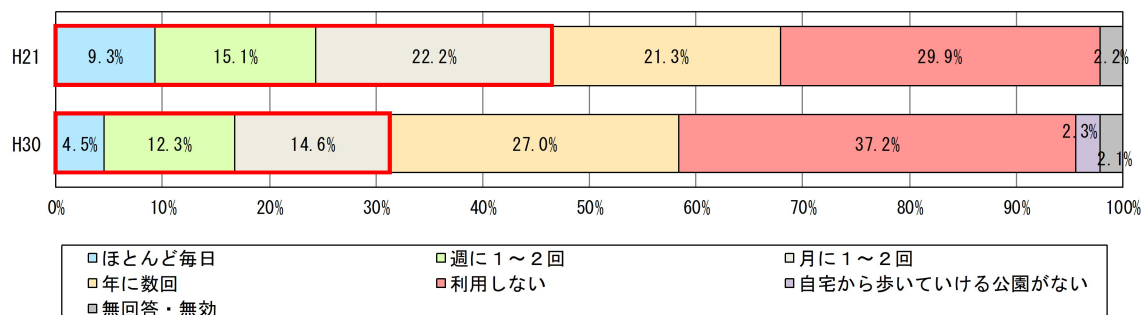
（1）身近な緑の目的・役割について

「市民の憩いの場やレクリエーションの場になっている」と回答した人が最も多く、次いで「地球温暖化等の緩和に役立っている」や「美しい市街地景観を形成している」「美しい自然景観を形成している」と回答した人が多くなっています。



（2）公園の利用について

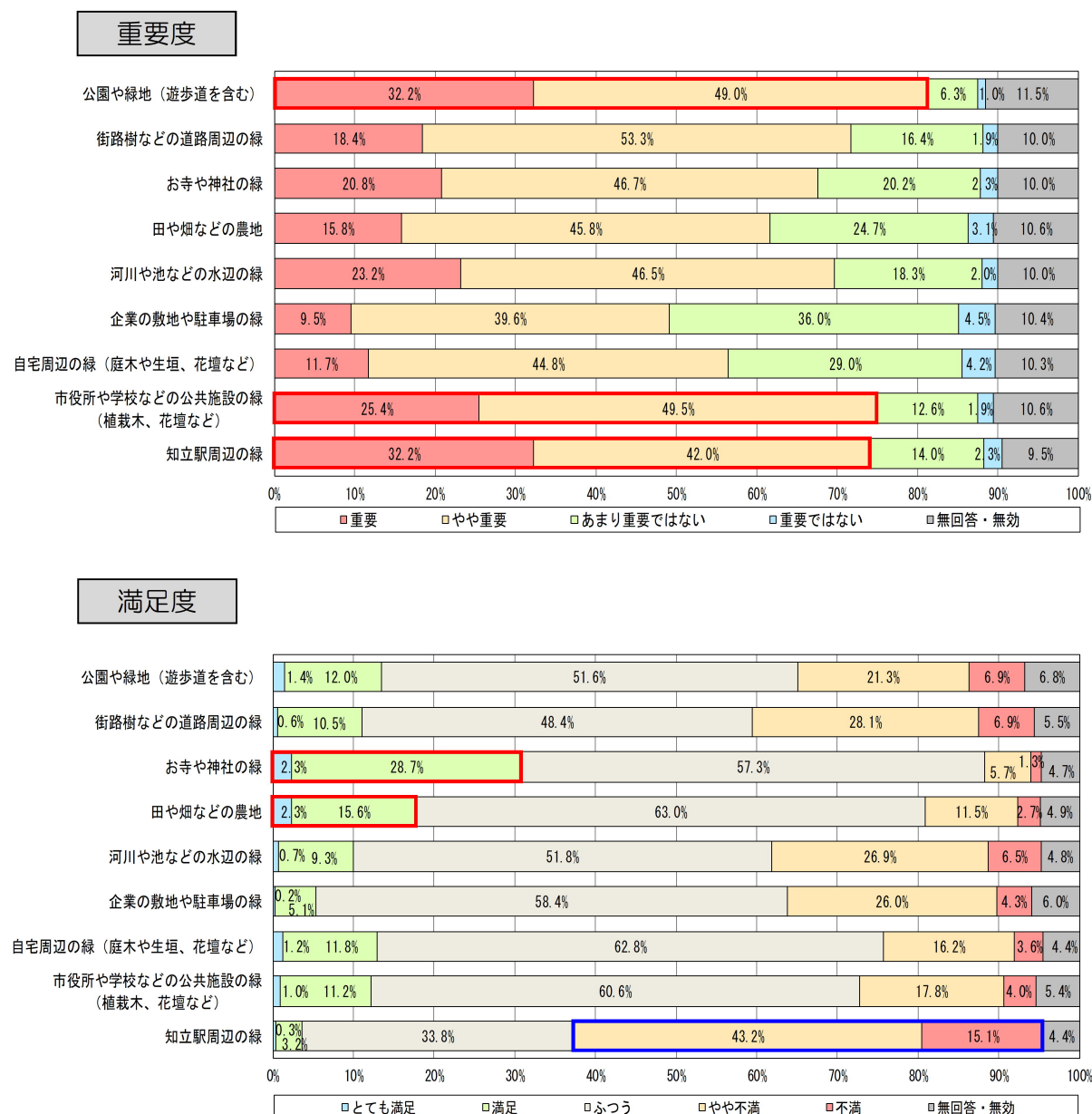
「月に1～2回」以上利用する人の割合は31%ですが、平成21年に実施されたアンケートと比較すると減少しており、公園の利用率が少なくなっています。



(3) 身近な緑に対する重要度と満足度

重要度はいずれの項目も高く、特に「公園や緑地」や「市役所や学校などの公共施設の緑」、「知立駅周辺の緑」が高くなっています。

満足度は「お寺や神社の緑」や「田や畑などの農地」の満足度は高くなっている一方で、「知立駅周辺の緑」の満足度は低くなっています。



(4) 重要だと思う緑の方針について

「駅周辺などの市街地において緑を増やす」ことや「ニーズを踏まえた公園・緑地のリニューアルや老朽化対策」が多く、それぞれ半数以上の人が重要だと回答しています。

